

鳥たちのサンクチュアリ

夏目の堰と利根川下流域

ハクチョウの群れが越冬のために今年も飛来しています。冬の到来を告げ、春の訪れを前に去る冬の使者・ハクチョウ。2月下旬ごろまでその姿を見ることができます。



夏目の堰

夏目の堰（八丁堰）は8ヘクタールの池で、もともとは榊海の一部でした。周辺は、江戸時代に干拓され、干潟八万石と言われる水田地帯になり、農業用のため池として夏目の堰がつけられました。

ここでは古くからカモ猟が行われ、網でとるかたわら、カモの保護にも力を注ぎ、多くのカモが渡ってくるようになります。東庄民の森ができると同時にカモ猟は終わりましたが、現在でも多くのカモが冬を越すため飛来します。

堰とハクチョウ

ハクチョウも2005年冬

ころから飛来するようになり、年々数を増やしています。近年は1千羽以上のハクチョウが越冬のため飛来する関東でも有数の飛来地で、千葉県特別鳥獣保護区に指定されています。

日中は、周囲の水田でエサを食べて過ごしているため、朝に堰を飛び立ち、夕方に戻り、ねぐら入りします。

水鳥の楽園

堰にいるカモは、夜間に活発に食事をします。昼間に食事をするハクチョウとは行動が逆転しますが、朝・夕ともに休んでいる時間帯の堰は、まさに鳥の楽園のごとく、水鳥たちで埋め尽くされます。

ハクチョウが水面を蹴って飛び立つ姿はとてもダイナミック。朝方に飛び立つ姿や夕方に帰還する姿を楽しみに、町内外からたくさんの方が堰に訪れ、写真を撮ったり、観察したりと、思い思いにバードウォッチングをしています。

マガモ



グエツ
グエツ
グアー

①冬
②夏目の堰

オナガガモ



プユル
プユル

①冬
②夏目の堰

東庄の野鳥

日本野鳥の会千葉県幹事・隈部さん監修
町内で観察できる野鳥を紹介

東庄ではいろいろな鳥を見ることができますよ
隈部 修さん
(羽計台)



①観察時期
②観察場所
(言、さえずり)



東庄は自然の宝庫

千葉県野鳥の会幹事 齊藤 敏一 さん(旭市)

35年前に広報東庄で「わが町の野鳥」を連載。当時東庄中の教師として生物部を立ち上げ、鳥の保護観察に関する全国大会で東庄中が文部大臣奨励賞を受賞。コジュリンの利根川での繁殖を発見するなど、野鳥保護観察の専門家。



夏目の堰では、多いときにはカモが1万羽ほどいます。主に、オナガガモが6〜8千羽、マガモが2千羽、コガモもいます。ハクチョウも数を増やし、近年は1千羽を超えます。そのほとんどはコハクチョウで、オオハクチョウは十数羽。食べ物は、近くの田んぼで二番穂などを食べています。堰は安全で、近くには豊富に食べ物があるので、とても居心地が良いのだと思います。先日、赤いリングを付けたコハクチョウを見ましたが、これは調査のため用いるリングで、赤は国識別でロシアです。さらに記号などから調べると、北極海近くから飛来したことが判明。本当に遠くからやってきます。堰にはカワセミやオオバンもいます。利根川下流域でも、コジュリンやオオセツカ、コヨシキリなど、貴重な鳥たちを観察することができます。動きが活発になる繁殖期の初夏が最適で、冬に見つけるのは難しいかもしれませんが、ヨシ原に生息しています。冬はチュウヒなどが、見つけやすいと思いますよ。

観察するときは、一定の距離を保ち、双眼鏡などを持って行くことをお勧めします。

利根川下流域

水と緑が豊かな利根川下流域の河川敷には、国内でも有数のヨシ原が広がっています。この広大なヨシ原は、世界的にも珍しいコジュリンやオオセツカの繁殖地です。利根川などの繁殖地以外で、コジュリンやオオセツカの観察は、とても難しいと言われていて、またコヨシキリやセツカなど、同じように小さくてかわいらしい鳥たちも生息していて、繁殖期のシーズンは、さまざまなさえずりが聞こえます。

小鳥だけでなく、猛きん類も観察することができます。

特に冬のシーズンは、越冬のため飛来するチュウヒのほか、チョウゲンボウなどを確認することができます。

町の鳥 コジュリン

コジュリンは、スズメ目ホオジロ科ホオジロ属に分類され、体の大きさはスズメより小さい鳥です。

通年で生息しており、オスの夏羽は頭部が黒く、ヨシの先端でさえずっています。利根川下流域で頭が真っ黒な野鳥は、コジュリンだけなので、活発に動く春から夏は観察しやすい時期です。

ハクチョウ・カモ 観察時の注意

エサをやらない

餌付けをすると、人に近づいてきます。鳥インフルエンザのまん延、拡散予防のため死がいやふん便には触れないように注意してください。

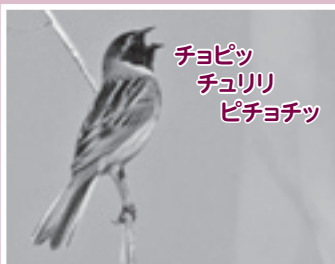
犬は近づけないで

鳥たちの生活圏をおびやかす距離には近づけないように。人よりも敏感に犬の姿や気配を感じ取り、パニックになります。

車から降りない

昼間、ハクチョウが田んぼにいるときは、車から降りずに観察してください。降りると人の気配を感じ、逃げていきます。

コジュリン



①春〜夏
②利根川下流域のヨシ原

オオハクチョウ



①冬
②夏目の堰、水田

コハクチョウ



①冬
②夏目の堰、水田